



第4回定例会

平成25年第4回定例会は、12月10日に開会し、「市道路線の認定について」など、市長提出議案22件、議員提出議案4件について慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決、承認並びに同意しました。

また、第3回定例会において、閉会中の継続審査に付されていた決算関係議案3件についても、認定並びに原案のとおり可決し、12月20日に閉会しました。

自治基本条例の制定など

26議案を可決



門真市自治基本条例の制定については、本市の自治の基本理念を明らかにし、市民、議会及び市役所が協働によるまちづくりの基本原則等を理解し、自治の確立及び市民の福祉の増進を図るとともに、市政運営の基本的な事項等を明文化し、自律発展都市の形成を目指すため提案されたものです。

地域活性化に向け地域会議を設置

審査の付託を受けた総務建設常任委員会では、同条例で定める地域会議の趣旨をたじたところ、地域会議は、各地域独自の取り組みの促進による地域活性化への寄与を目的に、原則、中学校区を範囲として、市民、事業所、自治会、各種団体、NPO、ボランティア団体など、地域で活動する多様な主体が連携し、地域の課題解決に向け、協働による取り組みを推進する組織として、地域住民が自主的に設置するものであることとしました。

次に、地域会議設置の有無による地域格差の解消に向けた考え方をたじたところ、地域会議は、地域の状況に応じた検討等が必要ことから、設立に向けた進め方や時期は校区によって異なる。市としては、設置の有無にかかわらず、行政の公的責任は果たしていくことから、制度としては問題ないと考えているが、早期に全校区で設立されるよう、地域住民に地域会議を理解してもらうための丁寧な説明に努め、設立に向けた意識

を醸成するとともに、運営経費や事業への交付金制度の検討も進めていきたいとのことでした。

(仮称) 地域協働センターを整備

次に、地域会議の設立とともに整備予定の(仮称)地域協働センターの目的等をたじたところ、同センターは、協働によるまちづくりをより一層進展させるため、地域会議や地域住民の活動拠点の施設として整備するもので、地域の課題解決への取り組みを協働することを初め、地域のさまざまな場面に応じて活用することを目的としている。管理運営に当たっては、地域会議を同センターの指定管理者とする。地域の自治に対する意識の向上を図られるとともに、地域のニーズに応じた施設の運営が可能になると考えており、地域の他団体との共同による運営も考えている。

市民の定義

次に、条例上の市民の定義をたじたところ、本市に住所を有する住民のほか、通勤、通学する者、本市で市民活動を行う者もしくは団体または事業所として定義しており、多くの人の参加・参画のもとで、行政と一体となり、まちの発展、すなわち自律発展都市の形成を図っていききたいとのことでした。

これに対し、市民の定義に、本市で市民活動を行う者もしくは団体等を含めると、同条例の本来の目的に反する集団等が、協働によるまちづくりの主体として参画する可能性があるとの懸念から、市の見解をたじた

ところ、同条例の施行規則で地域会議の認定要件を厳格に定め、本来の目的に反する集団等の関与がないよう、地域会議の健全な運営に向けた一定のルールを定めるとともに、市が交付する補助金の適正な執行のチェック体制の確保も図っていききたいとのことでした。

第5次総合計画の実践に向け行政組織を再編

門真市事務分掌条例の全部改正については、新たな行政課題に的確に対応するとともに、第5次総合計画を確実に実践するため、より効率的かつ機動的な行政組織を整備するため提案されたものです。

審査の付託を受けた総務建設常任委員会では、改正の目的と内容をたじたところ、少数精鋭によるスリムで効率的な組織の整備を図ることを基本原則とし、市民にとってわかりやすく、利便性が向上するという視点で組織再編を行うもので、大きくは4点の見直し内容となっている。

1点目は、子ども・子育てに係る施策を一体的に行うため、福祉政策課の一部、子ども課及び保育園、幼稚園、こども発達支援センターを新たに教育委員会に設置することも未来部に移管し、就学前の学校教育並びに幼児小中の連続性を持った施策の充実を図る。

2点目は、市民に密着した行政サービスを一体的に取り組み、一層の市民ニーズに対応するため、市民部と環境事業部を統合し、市民生活部を設置する。

3点目は、福祉と医療に関する施策を一体的に行うため、健康福祉部に国民健康保険事業を加え、保健福祉部を設置する。

4点目は、将来的な公共下水

このほか、法人格がない地域会議を(仮称)地域協働センターの指定管理者とするなどの法的な問題の有無などについて質疑、答弁がありました。

本案は、本会議において反対賛成の討論がありましたが、賛成多数で可決しました。

このほか、改正によるメリット、新たな機構へスムーズに移行するための取り組みなどについて質疑、答弁がありました。

本案は、本会議において反対の討論がありましたが、賛成多数で可決しました。

議会のあゆみ (平成25年11月1日～平成26年1月31日)

11	1 大阪府市議会議長会正副会長会・理事会	26~27	守口市門真市消防組合議会管外行政調査	16	文教常任委員会
7	大阪府市議会議長会総会	28	議会だより編集委員会	19	本会議
8	近畿地方治水大会	29	治水事業促進全国大会・東部大阪治水対策	20	本会議 (第4回定例会閉会)
13~14	くすのき広域連合議会管外行政調査		促進協議会協議会中央陳情	24	飯盛霊園組合議会定例会
14	大阪広域水道企業団議会定例会	12	3 議会運営委員会	25	守口市門真市消防組合議会定例会
15	議会運営委員会	10	10 議会運営委員会	26	くすのき広域連合議会定例会
	大阪府市議会議長会議員研修会		本会議 (第4回定例会開会)	29	仕事納め
18	東部大阪治水対策促進協議会協議会総会	11	総務建設常任委員会	1	6 仕事始め
19~20	飯盛霊園組合議会管外行政調査	12	民生常任委員会	27~28	総務建設常任委員会管外行政調査
20	河北市議会議長会		大阪中央環状モノレール建設促進協議会協議	28	東部大阪治水対策促進協議会協議会管内視察
21~22	民生常任委員会管外行政調査	13	13 会正副・監事会	30~31	河北市議会議長会総会・管外行政調査
26	大阪府後期高齢者医療広域連合議会定例会		議会運営委員会		

一般質問

12月19日、20日の本会議において、16名の議員が市政に対する質問を行いました。

主な質問と答弁の要旨を掲載しています。(通告順)

質問・答弁の詳細な内容については、市議会ホームページ (<http://www.city.kadoma.osaka.jp/shigikai/>)内の会議録検索及び各議員のホームページをごらんください。

※ 第4回定例会(25年12月)の会議録は3月初旬に掲載する予定です。



土山 重樹 (自由民主党)

学力向上対策について

問 本市では教育の向上を市政の3本柱の一つに掲げ、子どもの学力向上に取り組んでいるが、教師の授業内容を単元ごとにネットの動画で見られるようになれば、予習や復習も容易にでき、子どもが病欠等で休んでも遅れることがなくなる。また、若い教師の授業の参考にもなるよう

えるが、市の見解は。
答 大変有効と認識しており、配信上の条件整備等の課題はあるが、精力的に研究を進める。
AEDの24時間利用について

AEDの24時間利用について

問 本市の公共施設のアEDは早朝や夜間等に迅速に利用できる環境になく、三島市などのようにAEDをコンビニに提供し、市民が24時間利用できるようにしてほしい。
答 消防組合と連携を図り、救命率の向上に努めており、さまざまな手法の検討も視野に調査研究していく。



内海 武寿 (公明党)

学校施設の老朽化対策と五月田小大規模改修工事について

問 自治連合会から学校校舎の老朽化に伴う改善の要望を受け、学校管理者等と点検を行ったところ、トイレは大半が和式で日常的に匂いが漂い、非常階段は老朽化していた。そうした改善の必要がある箇所を先行して、部分的に改修することへの考え

は。
答 市に有利となる国庫補助金等の活用を視野に入れ、トイレや非常階段など部分的な改修を数校実施するなど、さまざまな方法を検討し、効率的に進めていきたい。

25年度から2年をかけて行

っている五月田小学校の大規模改修工事では、外壁や窓ガラスなどの非構造部材の耐震化も行われているのか。
答 天井部分の下地の改修や照明器具の固定等、非構造部材の耐震化に配慮して、設計や工事を進めている。



五味 聖二 (緑風クラブ)

市民スポーツの振興について

問 既存の市内スポーツ団体への今後の支援や充実の考えは。
答 団体が実施する事業の内容に鑑み、施設の優先使用等の措置を適正に行っていく。
問 東京都では2020年のオリンピック開催に向け、スポーツ教育推進のための教材を小中学校の授業等で活用するなど

市民スポーツの振興について

さまざまな取り組みを進めているが、本市でも活用する考えは。
答 20年度から府主催の事業を活用しており、東京都の補助教材も調査研究していきたい。



吉水 丈晴 (緑風クラブ)

トポス跡地問題について

問 21年3月に約900万円もかけて策定した幸福町・中町まちづくり基本計画になったトポス跡地に体育館を建設する計画は、どの会議で決定したのか。
答 同計画でも建設の必要性を掲げていたが、配置検討など課題を列挙したのみで、その後市民要望が強まり、同計画策定の

トポス跡地問題について

ら1年半後の政策調整会議で議論し、調整した。
問 多額の費用をかけたのに、市民をばかにしているのでは。
答 的確な判断と考えている。



豊北 裕子 (日本共産党)

市立養護老人ホーム跡地活用について

問 売却の方向が示されていたが、「当面売却を見合わせ、市民が弁天池公園との一体的な利用ができるよう計画の変更を考えている」としたのはなぜか。
答 市民から要望書等を受けた後、関係部局と調整し、検討した結果、地域の意見を貴重なもの

市立養護老人ホーム跡地活用について

のと捉え、総合的に判断した。
問 今後の計画策定も市民の声を聞くことが求められているが。
答 整備内容等の詳細も詰めていく上で、地域の声も聞きながら検討していく。



大倉 基文 (緑風クラブ)

地域通貨「蓮」について

問 同通貨は市民ご意見番アンケートの重要度と満足度で最下位だが、発行金額では日本一であることに違和感を覚える。発行から3年が経過し、市が考える課題とは何か。
答 これまでの市民存在を認識してもらう方策から、発行目的を理解してもらう方策への転

地域通貨「蓮」について

換と、その周知等と考えている。
問 本市は同通貨発行のために、多くの交付金を拠出して発行運営を団体に依頼しているが、交付金への今後の考え方は。
答 さらに地域に根付いた事業展開となり、市内流通額の増大が図られた時点で、発行団体の自立に向けた調査研究を団体とともに進めていく。



福田 英彦 (日本共産党)

国保広域化の問題点について

問 本市が反対しないとして国保の広域化は、統一保険料ではなく、分賦金として市町村に割り当て、保険給付の広域化で、保健・健診・検診事業が後退し、保険料が高くなること
答 容易に予測されるかどうか？
問 国民会議等での「分賦金」という意見は認識しているが、

国保広域化の問題点について

具体的内容は今後の国会等で議論される。安定した制度の確立を図るよう、国・府に要望する。
都市計画道路変更後の歩道整備など安全確保について



武田 朋久 (公明党)

資源ごみの条例制定について

問 資源ごみの持ち去りは、各自治体の対応に委ねられているが、地域の安全・安心を脅かす可能性があることから規制が必要と考えるが、条例制定等に向けた本市の考え方は。
答 関係法令との整合性や資源としての価格動向等を総合的に勘案していくとともに、取り締

資源ごみの条例制定について

まりの実効性担保について、先進市の事例も含め、慎重に検討する必要があると考えている。
特定妊婦について



岡本 宗城 (公明党)

防災・減災について

問 道路陥没の原因となる路面下空洞の調査を実施し、防災・減災対策を効果的に進めるべきと考えるが、見解は。
答 本市では路面下の空洞が発見された事例は少ないが、今後国及び他の自治体の状況等を踏まえ、防災・減災に向けた路面下空洞調査の研究に取り組む。

防災・減災について

備計画を平成25年3月に策定し、図書館部門と文化会館部門を独立させ、図書館としての機能を十分果たせるよう考えている。
条例化されている図書館協議会の委員、図書館運営への市民参加に対する市の考えは。



亀井 淳 (日本共産党)

図書館の充実について

問 市民に対する図書館奉仕の基本の周知方法は。
答 「図書館の自由に関する宣言」を尊重し、宣言文を図書館玄関入口付近に再掲示する。
問 図書館整備計画への考えは。
答 「門真市生涯学習複合施設建設基本計画」として35万冊規模の蔵書能力を持った図書館整備に努める。



高橋 嘉子 (公明党)

子ども・子育て新制度について

問 国から発表された待機児童解消加速化プラン導入への取り組みに対する考えは。
答 年度途中の待機児童急増により、26年度当初には待機児童の発生が予測されることから、待機児童解消を積極的に推進するため、同プランの活用も含めた各種方策を取りまとめ、待機

子ども・子育て新制度について

児童解消加速化計画を国へ提出した。
現在、私立幼稚園の空き教室等を利用した1、2歳児対象の長時間預かり保育などを26年度から実施すべく各種調整を行っている。
問 同新制度で幼保一体化推進に伴い、議論されている認定子ども園に対する考えは。
答 保護者の就労状況等にかかわらず子どもを受け入れが可能なことから、教育と保育の一体提供に有効な施設と認識しており、利用ニーズ、地域性を十分に把握し、必要性を見極めたい。



木津 英之 (門真市民クラブ)

職員等の人材育成について

市民ニーズや地域特性に適した研修の実施及び人材育成における職員への意識づけに対する取り組みは。

市民ニーズや市の現状を分析することにより、自ら課題を設定し、解決策を見出す行政課題研修などを実施している。また、全職員を対象に、自治



中道 茂 (自由民主党)

飼い犬のふん放置について

公民協働によるふん放置に対する監視体制の強化の考えは。既に導入している自治体の事例を把握し、調査研究したい。

今後の本市における啓発活動の取り組みは。保健福祉センターにおいて、



田伏 幹夫 (門真市民クラブ)

生活困窮者への対策について

生活困窮者の公共料金滞納によるライフライン停止の際に、公益事業者等との連絡協定などの対策への見解は。

事業者との連携による対策は生活困窮者としての判断基準が明確ではなく、プライバシー保護との関係から行政への情報提供を躊躇するなど課題がある



春田 清子 (公明党)

キッズサポーターへの支援を

行政と学校が連携して事業継続するための支援の考えは。

26年度を目標に各校区でのキッズサポーターの組織化に取り組み、研修会などによる情報の共有を進める。

サイクルラック拡充について

大和田駅におけるサイクルラック設置の進捗状況は。放置自転車等への効果を認識し、設置に向け民間事業者と協議を進めている。



戸田 久和 (無所属)

光亜興産と都市建設部職員の

街づくり区画整理協会の関係者が集まる全国規模の「三都司会」への参加に際し、都市建設部の渡辺元部長や山下元課長が08年まで公務出張同行したが、実は、総会翌日の視察には参加せず、光亜興産社員一行と観光をするのが常だった。これ

は公務の偽りではないか? 決裁内容と異なる行動で、その報告もなかったため不適切であり、公務の不履行は職務専念義務違反であると考ええる。07年に、2氏は福岡市での総会後、日帰りすべきところ、山口県湯本温泉の高級旅館へ行き光亜一行と宿泊宴会し、翌日萩市観光もした。光亜近くのラウンジでの接待情報もある。これら出張費や宿泊費の詐取、供応接待の疑惑を綿密に調査すべきだが、どうか? 現行調査を踏まえ追加調査も考えている。

人事案件に同意

次の3件の人事案件は、任期満了に伴い提案されたもので、いずれも選任等に同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦

門真市本町14番6号

栗原 久子

公平委員会委員の選任

門真市下島町10番10号

植村 興

奈良県北葛城郡 王寺町太子1-1-32

小西 ふみ子



■市政に対する一般質問の要旨 (通告順)

土山 重樹 (自由民主党)

- 1 AEDについて
(1) AEDの24時間利用について
2 学習力向上について
(1) 動画配信について
3 補助団体について
(1) 社会教育団体のあり方について
(2) 補助団体の公平性について

内海 武寿 (公明党)

- 1 学校教育環境の整備について
(1) 学校施設の整備について
(2) マルチメディアデジ教科書の活用について
2 適切な保険適用について
(1) 療養費の不正請求について
(2) 市民への啓発活動や情報収集と府との連携について
3 中小企業の活性化について
(1) 本市の企業立地促進や新規事業への支援について
(2) 生産年齢人口増加の取り組みについて

五味 聖二 (緑風クラブ)

- 1 市民スポーツの振興について
2 弁天池公園の老人施設跡地に対する本市の考えについて

吉水 文晴 (緑風クラブ)

- 1 トボス跡地問題について
2 まちづくり手法の門真方式について

豊北 裕子 (日本共産党)

- 1 養護老人ホーム跡地活用について
(1) 計画見直しの経緯について
(2) 今後の考えについて
2 自転車新ルールについて
(1) 門真市の取り組みについて

大倉 基文 (緑風クラブ)

- 1 地域通貨「運」について
2 幼児虐待について

福田 英彦 (日本共産党)

- 1 国保広域化の問題点について
(1) 国、府の動向について
(2) 2015年度財政共同安定化事業一元化問題について
2 まちづくりについて
(1) 都市計画道路の変更と安心・安全のまちづくりについて
(2) 北島地区のまちづくりについて

武田 朋久 (公明党)

- 1 障がい者支援の視点からの軽自動車税について

- (1) 現状について
(2) 今後について

- 2 資源ごみの取り扱いについて
(1) 現在の市内の状況について
(2) 府下の状況について
(3) 条例制定について
(4) 取り締まりの実効性について

- 3 門真市における貧困対策について

- (1) 機構改革に伴う施策の拡充について
(2) 人権女性政策課について
(3) 貧困連鎖リスクの高い家庭について
(4) 特定妊婦について

岡本 宗城 (公明党)

- 1 防災・減災について
(1) 路面下空洞調査について
(2) 橋梁長寿命化修繕計画について

- 2 学校図書の実用について

- (1) 地方財政措置について
3 公共用地の活用について
(1) 桑才市営住宅跡地活用について

亀井 淳 (日本共産党)

- 1 図書館行政について
(1) 市民に対する図書館奉仕の基本を市民に知らせることについて
(2) 図書館整備計画について
(3) 条例で設置されている図書館協議会について
(4) 図書館運営に当たっての住民参加について

高橋 嘉子 (公明党)

- 1 子ども・子育て新制度について
(1) 待機児童解消加速化プランの導入について
(2) 子ども未来部の設置について
(3) 認定こども園について
2 「(仮称)門真市自転車安全利用に関するマナー条例」について
(1) 道路交通法の改正について
(2) 条例制定の進捗状況について

木津 英之 (門真市民クラブ)

- 1 職員の人材育成について
2 学力向上について
(1) 人材育成について

中道 茂 (自由民主党)

- 1 飼い犬のふん放置問題について
(1) 市内の飼い犬の現状について
(2) 飼い犬のふん放置の苦情について
(3) 飼い犬のふん放置防止条例について

- 2 HIVとエイズについて

- (1) HIVとエイズの啓発について
(2) HIVとエイズの正しい知識について
(3) 今後の本市における啓発活動の取り組みについて
3 保護司会の補助金について

田伏 幹夫 (門真市民クラブ)

- 1 生活困窮者について
(1) 今後の門真市の対策について

春田 清子 (公明党)

- 1 子ども安全見守り事業について
(1) キッズサポーターの連携と支援について
2 放置自転車対策について
(1) 放置自転車防止の啓発について
(2) サイクルラックの設置拡充について
3 「内部障がい」について
(1) 「内部障がい」への理解と支援について
(2) ハート・プラスマークについて
4 男女共同参画社会の推進について
(1) 本市での取り組みについて
(2) 男女共同参画センターの設置について

戸田 久和 (無所属)

- 1 悲惨な副作用の危険がある子宮頸がんワクチンについて
(1) 公明党が推進し共産党も賛同したこのワクチンが、不治の病も含む悲惨な副作用を女児に起こしていることの実態について
(2) 利権絡みの効果が疑わしいワクチンであることについて
2 金川建設に「厳重注意」文書を出したことについて
(1) 金川建設が8月の「警告処分」に続いて10月15日に「厳重注意」を受けた重さと意味、その内容などについて
3 北島のジェイウエーブ社や川端建設等の違法建築と都市建設部の無能無策ぶりについて
(1) ジェイウエーブ社の悪質さとそれに迎合するに等しい対応を続けてきた建築指導課のコンプライアンス感覚欠如について
(2) 20年前後も違法建築を続ける川端建設、川端建材に無指導で、建物補償をしたり、中央小工事に下請け参入させていることについて
(3) 違法建築社から地代や税収を得ている地主や市の責任について
4 光亜興産と都市建設部職員の接待や天下り問題について
(1) 光亜興産そばの光亜役員家族経営のラウンジでの「お呼ばれ」飲食や「社員旅行的な旅行」への同伴同宿宴会などについて

亀井議員、吉水議員に対する問責決議を可決

亀井淳議員が25年10月18日の決算特別委員会において、委員長の議事進行を妨げる発言を執拗に行い、審査を中断させたことなどに対し、12月10日の本会議において、同議員に対する問責決議を可決しました。

亀井淳議員が25年10月18日の決算特別委員会において、委員長の議事進行を妨げる発言を執拗に行い、審査を中断させたことなどに対し、12月10日の本会議において、同議員に対する問責決議を可決しました。

亀井淳議員に対する問責決議

亀井淳議員は、平成25年10月18日開催の決算特別委員会において、議員用傍聴席が空いているにもかかわらず、あえてを執拗に繰り返す発言を行い、委員長の議事進行を妨げる発言を執拗に行い、審査を中断させた。この傍聴席からの行為は、会議の秩序を乱し、議会制民主主義を冒瀆するものであり、到底看過できないものではない。

また、平成25年10月29日には、会派代表者による協議会で発言した議員に対し、当該議員が恫喝と感じざるを得ない発言を議会棟で行ったことは、誠に遺憾である。

さらに、平成25年第1回定例会において報告のとおり、亀井淳議員が本市議会選出の議員として就任していた守口市門真市消防組合議会の副議長を、同議員の言動が原因となり、任期途中の平成24年12月26日に辞任したことは、守口市議会選出の議員に迷惑をかけただけでなく、本市議会の名誉と権威を著しく失墜させた。

同議員には、言動に慎重を期すことが当然求められている中で、これらの行為に対し、これまで公式の場はもとより、非公公式の場においても議員自ら釈明及び謝罪の言葉を述べたことがなかったものであり、これらも考慮すると、市民の厳粛な信頼を受けた公職者たる議員として、市民の信頼を得られるものではないとともに、議員としての資質を疑うものである。

よって本市議会は、亀井淳議員に対し、公職者である議員の職責の重さを深く自覚し、猛省を求めるとともに、今後二度とこのような行為を起さぬよう強く求めるものである。

以上、ここに決議する。

吉水丈晴議員が門真市議会議員政治倫理条例(25年4月1日施行)に2回違反したとして、同条例の規定に基づき、議長より警告の措置が繰り返され、議長より警告の措置が繰り返されたことに対し、12月20日の本会議において、同議員に対する問責決議を可決しました。

吉水丈晴議員が門真市議会議員政治倫理条例(25年4月1日施行)に2回違反したとして、同条例の規定に基づき、議長より警告の措置が繰り返され、議長より警告の措置が繰り返されたことに対し、12月20日の本会議において、同議員に対する問責決議を可決しました。

吉水丈晴議員に対する問責決議

市議会議員は、市民の厳粛な信頼による公職者としての職責を認識し、市民全体の奉仕者として、その倫理性を自覚し、政治倫理にのっとり、議会に対する市民の信頼を確保すべきものである。

吉水丈晴議員は、このような立場にあるにもかかわらず、門真市議会議員政治倫理条例の施行後、本年9月10日には門真市体育協会の副会長、さらに11月15日には、門真市ソフトボール連盟の会長に就任していたことに対し、いずれも同条例第3条第7号「市から活動又は運営に対する補助又は助成を受けている団体の役員に就任しないこと」に違反したとして、同条例第10条の規定に基づき、議長より警告の措置が繰り返された。

当該行為は、いかなる理由があるにせよ、高い倫理観が求められる議員としてあってはならない行為であるとともに、門真市議会の名誉と権威、ひいては市民の本市議会に対する信頼を著しく失墜させたものであり、看過できるものではない。

よって本市議会は、吉水丈晴議員に対し、条例を遵守し、信頼回復に向けた取り組みを強く求めるとともに、倫理的責任の再認識と猛省を促し、その責任を厳しく問うものである。

以上、決議する。

補正予算を可決

平成25年度門真市一般会計補正予算(第5号)は、既定の歳入歳出予算にそれぞれ3144万7000円を追加し、予算総額を535億9875万9000円とするもので、本案は関係各常任委員会に分割付託し、慎重に審査しました。

パスポート発給事務 26年7月開始

審査の付託を受けた民生常任委員会では、まず旅券(パスポート)発給事務の事業実施に至る経過をたどるところ、同事務は、従来、国からの法定受託事務として大阪府が実施してきたものであるが、18年3月の旅券法の一部改正により、事務の一部を市町村へ再委託することが可能となり、府内各市が順次移譲を受けている状況を踏まえ、検討した結果、26年7月から実施することとした。

なお、市民にとってのメリットについては、大阪市内のパスポートセンターに行かずに、市役所で申請や受け取りができること、本市に本籍がある場合は申請に必要な戸籍抄本取得が同時にできることとした。

文教常任委員会では、英語教育活動業務委託の経費が前年度と比べ減額して計上されている理由と経緯をたどるところ、これまで小学校5、6年生と中学校に配置していたネイティブスピーカーによるAET(外国人英語指導助手)を、26年度は中学校のみを対象として、7人から3人に変更するものである。経緯については、第七中学校の使える英語プロジェクト事業において、二島、五月田小学校の児童を対象として、生きた英語に触れる機会をふやすことを目的に、従来のAETに加え英語が堪能な日本人の外国語活動支援員を配置したところ、児童の英語に対する興味・関心が高まる等の成果があったことから、26年度は、本市在住の英語の堪能な日本人の活用も視野に入れた拡充に向け、小学校全校を対象に同支援員約4名の配置を検討していることとした。

次に、今後の英語教育への考えをたどるところ、文部科学省が7年後を目途に、小学校5、6年生の外国語活動を教科化し、3年生の段階から外国語活動を取り入れる方向を示したことを受け、同省の動向を注視するとともに、使える英語プロジェクト事業の成果も踏まえ、小学校外国語活動のさらなる充実と中学校英語とのスムーズな接続を図るとともに、KEIK(門真子ども英会話講座)や、めざせ世界へはばけ事業などとの連携を深め、児童・生徒の英語に対する関心・意欲を高める取り組みを推進することとした。

意見書を可決

難病対策の充実等に関する意見書

消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書

第4回定例会で審議された案件と議決結果

議案名	議員名	公明党					日本共産党					緑風クラブ					自由民主党					門真市民クラブ					無所属	議決結果
		武田 朋久	岡本 宗城	内海 武寿	高橋 嘉孝	春田 清子	平岡久美子	梶谷 信夫	豊北 裕孝	井上まり子	福田 英彦	亀井 淳	大倉 基支	五味 聖一	今田 哲哉	吉水 丈晴	中道 茂	土山 重樹	佐藤 親太	木津 英之	伏田 幹夫	日高 哲生	戸田 久和					
専決処分	専決処分の承認を求めることについて(生活保護法第78条に基づく費用徴収金請求に伴う訴えの提起について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
条例	門真市一般職の任期付職員の採用に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	門真市自治基本条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	門真市事務分掌条例の全部改正について/門真市下水道条例の一部改正について/門真市水道条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	
その他の議案	市道路線の認定について/市道路線の変更について/門真市保健福祉センター内障害者福祉センターの指定管理者の指定について/門真市立老人福祉センター、門真市高齢者ふれあいセンター及び門真市地域高齢者交流サロンの指定管理者の指定について/門真南駅第1自転車駐車場、門真南駅北自転車駐車場及び門真南駅東自転車駐車場の指定管理者の指定について/門真市立弁天池公園の指定管理者の指定について/門真市民文化会館及び門真市立市民交流会館の指定管理者の指定について/住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	平成25年度門真市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
補正予算	平成25年度門真市一般会計補正予算(第5号)/平成25年度門真市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)/平成25年度門真市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)/平成25年度門真市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	
	公平委員会委員(小西ふみ子氏)の選任について/人権擁護委員候補者(栗原久子氏)の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
決算案件	公平委員会委員(植村興氏)の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	同意	
	平成24年度門真市水道事業剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	平成24年度門真市歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	認定	
議員提出議案	平成24年度門真市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	亀井淳議員に対する問責決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	難病対策の充実等に関する意見書	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	
吉水丈晴議員に対する問責決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		

※表の見方 『○』は賛成、『×』は反対。会派名は大派・公党順、議員名は議席順。
 ※1 議長につき、採決に参加なし。 ※2 自己に関する議事につき、採決に参加なし。